

令和4年度 第22回みやぎの区民活動表彰 受賞者一覧

【個人の部】(五十音順・敬称略)

	受賞者	活動内容・活動の功績等
1	アイザワ ヒロシ 相澤 浩	西山地区の体育振興に力を注ぎ、長期にわたりスポーツ企画の運営を行ってきた。また、西山地区防災連絡協議会を立ち上げ、会則や防災訓練の仕組みを作り、町内の防災活動に大きく貢献した。
2	アベ トヨコ 阿部 豊子	小地域福祉ネットワーク委員会の中心メンバーとして町内の独居老人及び高齢者に対し訪問見廻りやお茶会等の催しを実施している。また、町内会に婦人部しかなかった頃に、独身女性でも加入できるよう女性部を設立し、女性参画の機会を増やした。
3	イシカワ ジュンイチ 石川 淳一	介護予防サークル「ふれあいサークル」の会長として対応しており、体操教室や茶話会を企画、運営している。原町児童館でのボランティア「グランパの会」を担い母親の育児不安や子供達の孤立解消に繋げる活動をしている。
4	イロカワ ヨシカツ 色川 善勝	公園や河川の清掃活動に率先して取り組んでいる。また、地域防災リーダーと協力し防災訓練を実施し、災害時の要援護者への取り組みを進め地域の防災に貢献した。見守り隊として街頭に立ち地域全体の防犯活動にも努めている。
5	カタヒラ トヨキ 片平 豊基	銀杏町親交会の取りまとめ役であり会の運営基盤を支え安定した活動を実現した。社明推進運動の責任者であり、保護司として更生保護に注力した。また、銀杏町緑地公園維持管理委員として、公園愛護、緑化活動、清掃に取り組んでいる。
6	カトウ マキコ 加藤 槇子	福祉委員として長期にわたり、高齢者を対象とした『いきいきサロン』事業の企画・運営や日常生活における高齢者見守り活動・安否確認活動等に取り組んだ。コロナ禍によるストレス緩和対策として庭先訪問や電話による対話も重視し実践した。
7	クロサワ キヨシ 黒澤 清	苗代沢愛護協会を設立し、多くの住民に公園内草取り作業への参加を促した。西山学区連合町内会副会長を歴任した他、西山コミュニティセンター管理運営委員会や東仙台防犯協会など各種団体事業に積極的に取り組んだ。
8	コンノ ヒサオ 今野 久郎	地域の安心・安全を守るため20年近く町内の防犯に携わっている。町内会でも長年運営に携わり、町内の中心的な人物で信頼も厚く、町内のイベントや敬老会がある際には積極的に参加を促し、高齢者の孤立防止に大きく貢献した。
9	ササキ ヤスオ 佐々木 康夫	長期にわたり衛生部長の職を務め、退任後はほぼ毎日ごみ集積所内の清掃や公園内の掃除を自発的に行っている。その姿に触発され美化活動を手伝う住民も増えてきており、後任の衛生部長をリードする存在となっている。
10	サトウ ふみ子 佐藤 ふみ子	長期にわたり福祉委員として活躍しており、高齢者の安否確認に注力した。また、高齢者の交流や生きがいづくりを目的としたサークルを創設し、健康体操などを企画・運営している。
11	スズキ ヨシオ 鈴木 慶雄	地域の防災指導に力を入れているほか、仙台市災害時消防支援協力員としても活動している。梅田川清掃をはじめとする町内会での美化活動、クリーンキャンペーンにも尽力し、クリーンメイトとしても10年以上活動している。
12	タカハタ ノブコ 高畑 信子	婦人防火クラブの副支部長として永年活動しており、町内防火キャンペーンの企画、運営等に尽力した。仙台市防災リーダーやクリーンメイトなど防災や衛生、美化活動の分野において多岐にわたり活動している。
13	ナガサワ マサミ 永澤 昌美	民生委員、主任児童委員、街づくり活性化協議会役員等原町内の様々な役職を担っており、町内に欠かせない女性リーダーとなっている。特に更生保護に力を入れており、永年にわたり地域内外の福祉分野を支えている。
14	ニシヤマ トキコ 西山 登喜子	梅田川堤防の草刈りや道端のゴミ拾いを始めとした町内の清掃を行っている。民生委員の目の届かない孤独死の事前防止や独居老人の身辺的なサポートも行っており、町内会の枠を超えた愛護行動により町内の住民から慕われている。
15	ヤマザキ サチコ 山崎 幸子	市道三高前及び脇道、与兵衛沼公園内遊歩道、柊江小学校周辺の清掃活動をほぼ毎日自発的に行っている。活動が長期間実施されていることから、地域の方々が心から感謝しており、その姿に触発され清掃活動を行う地域住民も出てきている。

【団体の部】(五十音順・敬称略)

	受賞団体	活動内容・活動の功績等
1	アイオーシー IOC イワキリ (岩切おもしろ倶楽部)	郷土の歴史や文化遺産を紹介する「ぶらっと街歩き」や親子で参加できる映画観賞会を開催している。「岩切おもしろ寄席」というイベントでは、“笑いの場”の提供のみならず、今後の福祉活動の在り方について意見を述べ合う機会にもなっている。
2	ロウジン 老人クラブ オオツツミフユウカイ 大堤芙蓉会	情報誌「芙蓉会だより」の発行や菊花展の開催を続け、地域のつながりづくりに寄与している。また、コロナ禍での外出自粛に伴う高齢者の孤独化、社会的孤立化防止のため「はつらつクラブ」という健康サークルの発足や声掛け安否確認を実施した。